

研究者名：萩原 健一（大学院複合芸術研究科 准教授）

研究課題名：他者のカメラワークを再現する撮影支援ツールの開発と映像メディア教材としての応用

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：令和2年度～令和4年度

※補助事業期間を令和5年度まで延長

【研究概要】

これまでに申請者は映像表現を主軸にした美術作品を国内外で発表し、同時に教育者としてメディアアート手法を応用した実習授業を実践している。その経験から、メディア表現教育の現場で使用される教具の重要性と、現状の不備を感じている。本研究では、映像メディア環境の変化に対応した学習支援ツールや授業プログラムの開発を目的とする。その際、動画撮影者の身体性の表れであるカメラワーク（対象を追うカメラの動き）に着目し、動画撮影者の動作を記憶・再現するツールを開発する。さらに、当該ツールを用いたメディア表現・受容能力の育成を促進する、実用性の高い教育プログラムを作成する。

本研究によって、映像文法を理解する能力および撮影者のメッセージを受容する能力の向上が促され、より多様な視聴覚メディア表現を生み出すきっかけになり得る。